

私たちは皆、ウクライナ人である  
本オンライン展示について

この展示は、プーチン政権が進めている主権国家たる隣国への侵略、そして罪のないウクライナ人とその子どもたちのロシア軍による無差別殺戮に対する、サイエンス・フィクション博物館とアーティストによる反戦声明です。

プーチン政権の邪悪な野望に立ち向かうウクライナによる抵抗および生存のための戦いを私たちは支持します。プーチン氏が大統領解任となりかつ戦争犯罪で裁かれるまで、自由主義諸国はロシアからの報復への恐怖を克服し、ロシアを無力化するために積極的にあらゆる手段を行使すべきです。ウクライナが対等に戦えるよう、軍器や人員等さらなる支援を提供する必要があります。彼らの戦いは私たちの戦いです。プーチン氏は自由主義諸国に対して絶え間ない憎悪を抱いているため、ウクライナを陥落させてしまったら、ロシアは次に、私たちを攻めてくるでしょう。

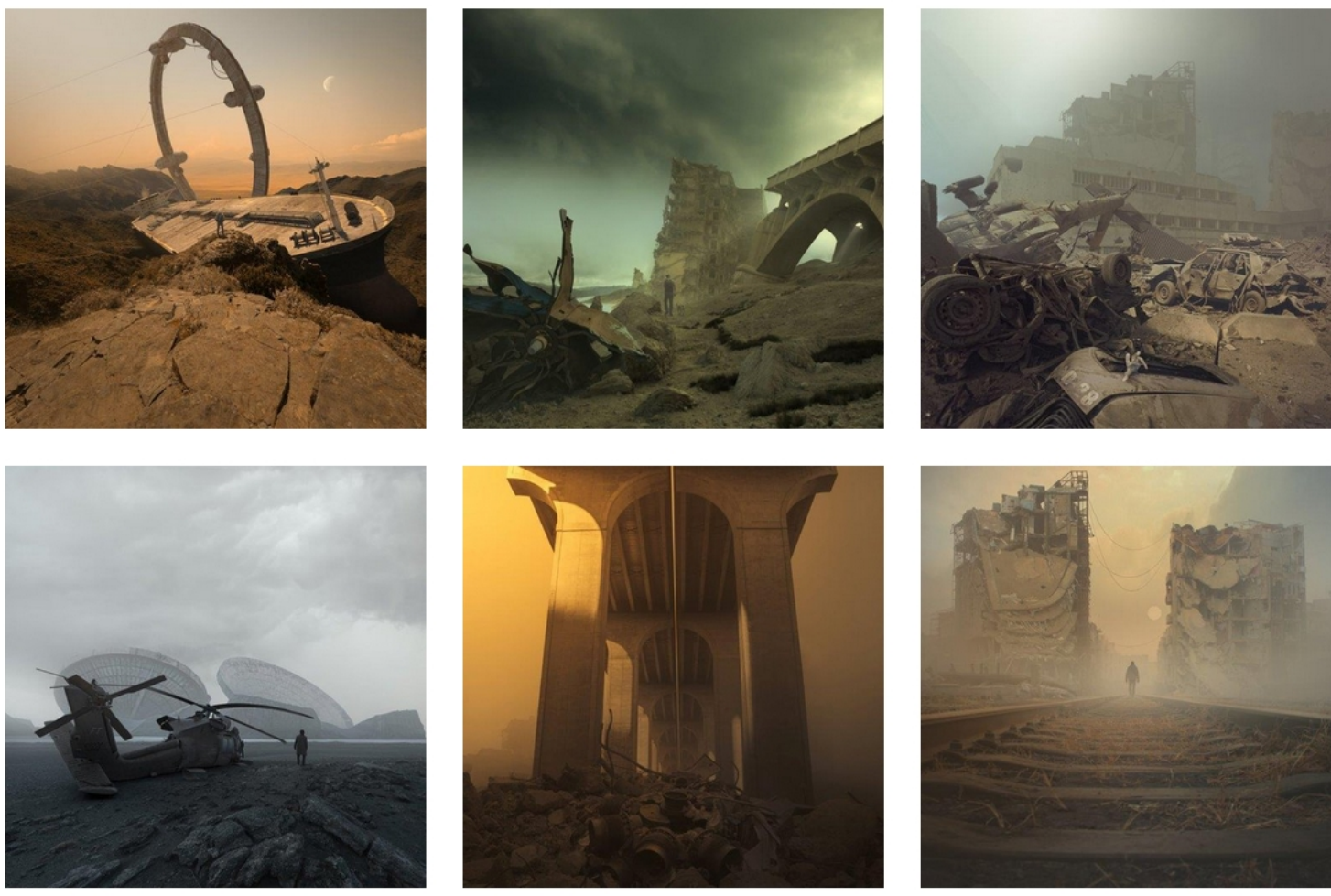


(その行為は) ナチスの残虐行為と驚くほど類似しており、プーチン氏は21世紀のヒトラーになりつつあります。その政権は存続させてはなりません。プーチン氏の人権に対する冒瀆は根絶すべきです。自由主義諸国が十分に奮い立ち行動を起こすまでに、あと何人のウクライナの子どもたちが殺されなければならないのでしょうか。プーチン氏およびその政権を排除できないということは、人権の未来からみて今世紀最大の脅威です。私たちは、この小さな取り組みが、何らかの変化をもたらすことを願っています。

この展示は、当館のモバイルアプリや、今年後半にリリース予定のVR体験でもご覧いただけるようになっています。また、ベルリン、パリ、ワシントンDC、ロンドンのウクライナ大使館にて、物理的な展示を設置したいと考えております。展示会の説明文の翻訳は、以下よりダウンロードが可能です。

Polish Ukrainian Russian German French Italian Spanish Portuguese  
Czech Chinese Japanese Arabic

Comment



私たちは皆、ウクライナ人である

行動を起こそう、彼らが生き延びるために苦勞しているのをただ静観しているだけではいけない  
言葉だけでなく、銃だけでなく、積極的に寄り添おう  
彼らの戦いに参加しよう、彼らの戦いは我々の戦いである

ウクライナを陥落させてしまったら、我々も崩れ、自由は夢物語となり、我々はそれを恥じ入ることになるであろう  
彼らを死なせてしまい後世恥をかきより、彼らを護って殉死する方がまだ良い  
ロシアの侵略者は彼らの幼子を殺している、次は私たちの幼きものたちだ  
彼らの戦いに加わろう、彼らの戦いは我々の戦いである  
彼らの幼子を守ろう、彼らの子どもたちは私たちの子どもでもあり、次は私たちの子どもたちが追われる身となる  
子どもたちを愛しているならば、より良い未来を与えなければならない

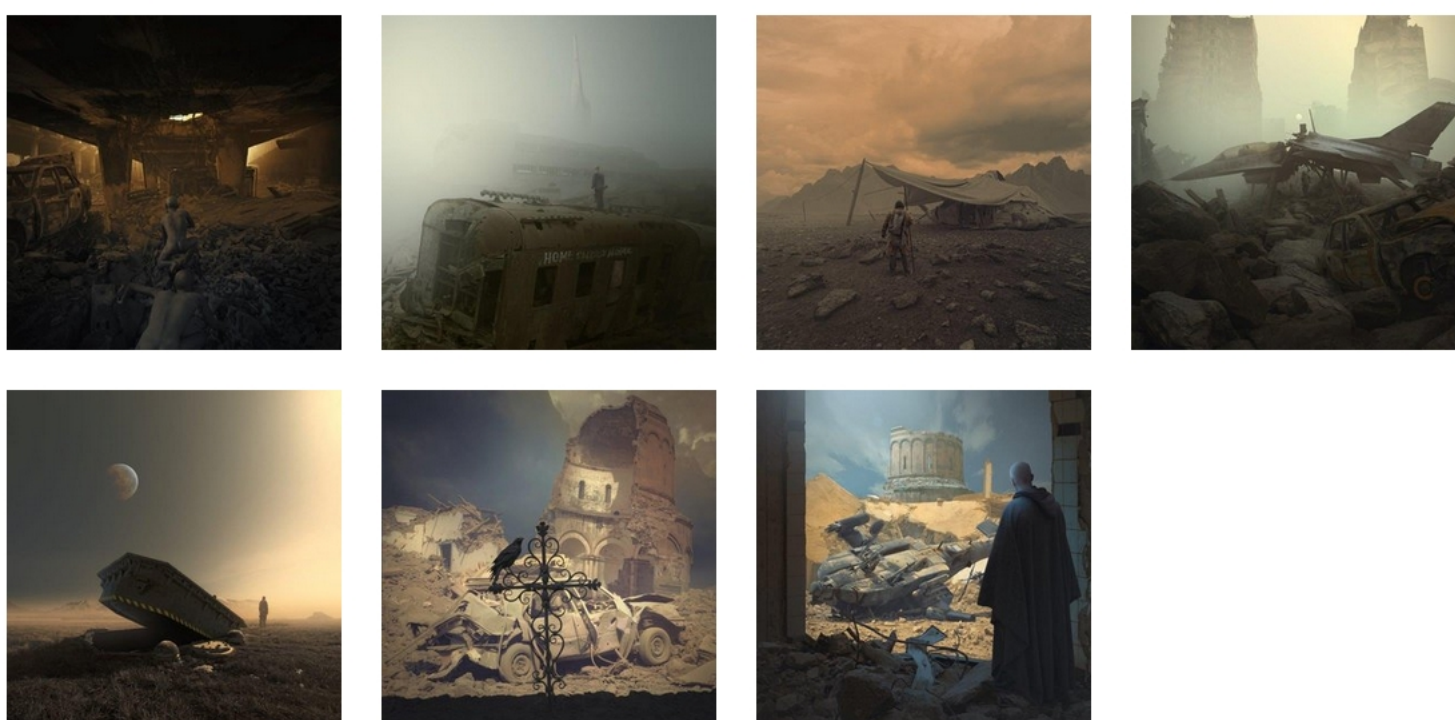
シュームに描かれている画、ウクライナを陥落させた場合、起こり得る世界の前触れである  
私たちの子どもたちは、荒廃に追放され  
荒廃は彼らが私たちより受け継ぐ遺物となり、彼らは私たちが当然ながら憎むだろう

シュームは人類の失敗を描いている  
希望のかけらもない像  
壊れた戦車、荒涼とした大地、抹殺された人々  
絶望

もし、ロシアによる(ウクライナの)人々の抑圧を我々が許してしまったら、シュームの描く画は必ず実現する  
邪悪な圧制者に勝利することを祈ろう  
悪の侵略や不当な事由から身を守ろう  
次は私たちの子どもが必ず狙われるため、隣人の子どもたちを守ろう  
彼らの戦いに加わろう、彼らの戦いは我々の戦いである

もし我々がこの悪を根絶させることができなければ、より多く、より強いかたちでそれは戻ってくるだろう  
子どもたちに希望のない未来を歩ませないようにしよう

もし子供を愛しているのであれば、ロシアの侵略者とその後に続くかもしれない者たちに対して立ち向かう  
彼らの戦いに加わろう、彼らの戦いは我々の戦いである  
私たちは黙ってはいられない、自由はタダではない  
今、私たちは皆、ウクライナ人です



## 後記

もし、強い憤りを感じられているのであれば、今すぐ行動をとってください。  
(人々の)行動はプーチン氏の悪を根絶させる役割を担います。  
さらに注記すべき点は、  
ロシアの侵攻は、軍事的に完全な恥すべきものであったこと  
プーチン氏の計画はことごとく失敗したこと  
プーチン氏はNATO(北大西洋条約機構)に新たな存在意義を与え、その過程で自由主義諸国が結束したこと  
中国がこの状況を監視していること

## 本作品のアーティストについて

Michał Klimczakはポーランド南部のクラクフ市に住んでいます。独学でフォトモンタージュと3Dグラフィックを学び、2007年からコンピューターグラフィックスを媒体とした作品に取り組んでいます。サイエンス・フィクション博物館とは2014年以降、様々な共同プロジェクトを展開してきました。

Klimczakはバキスタン写真家のBaber Afzalと協力し、2014年に国際的な写真コンクール「The International Photography Awards」の建築部門で2位を獲得し、以降も幻想的でシュールな作品作りにも励んでいます。

現在、Klimczakの作品を集めたハードカバーの図録を企画しており、2023年にサイエンス・フィクション博物館より出版される予定です。本図録には、Klimczakのサイエンス・フィクションをテーマにした作品から厳選されたものが掲載されます。



SUPPORT UKRAINE

TAKE HOME EXHIBITION

Sign Our Guest Book

The Museum of Science Fiction is a US nonprofit 501c3 organization